

高山の文化



一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内
Tel.34-6550 Fax.34-6877
メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

No.155 2014.8.1 Culture in Takayama

平成二十六年 初心者講座のご案内

本年度の初心者講座は、次の五講座です。

「楽しい詩吟」

漢詩・和歌・俳句など、古今の名詩を腹から声を出して吟詠します。健康にも良いし、人生が楽しくなります。

- ◆ 日程 十月下旬～十一月(金曜・五回)
- ◆ 時間 午後七時～九時
- ◆ 講師 北野興策
- ◆ 費用 無料

「祝唄 めでた」

高山の祝唄「めでた」を学びます。前唄、本唄、返し、納めまで歌えるように目指します。他に東海道(大津絵ひだぶし)なども学びます。

- ◆ 日程 九月下旬～十月(土曜・三回)

「はじめての短歌」

短歌の基礎を学び、身近なことをテーマに短歌を作ります。

- ◆ 日程 十月下旬～十一月(月曜又は火曜・三回)
- ◆ 時間 午後七時～
- ◆ 講師 大下宣子
- ◆ 費用 無料

「飛驒の遺跡を知る」

飛驒地方には多くの遺跡があります。先史から古代以降の考古学的な資料を紹介し、飛驒の各地域の歴史を少し深めてみたいと思います。

- ◆ 日程 十月(日曜・三回)
- ◆ 時間 午後七時三十分～九時
- ◆ 講師 飛驒考古学会会員
- ◆ 費用 無料
- ◆ 定員 三十名

「民踊初心者講座」

地元の民踊をはじめ、全国の民踊や新舞踊を楽しく指導します。一緒に楽しく踊りませんか？

- ◆ 日程 十月～十二月(木曜・五回)
- ◆ 時間 午後七時～九時
- ◆ 講師 中田豊飛真
- ◆ 費用 無料

お申し込みは、八月三十一日(日)までに、文化会館窓口にて配布の申込用紙またはハガキ(当日消印有効)に、講座名、住所、氏名、電話番号を記入の上、お申し込みください。また、インターネットからもお申し込みいただけます。

定員のある講座は、先着順となります。なお、申し込み人数の少ない講座は、中止となる場合があります。

なる場合があります。講座により、日程・回数が異なりますので、ご確認の上お申し込みください。多数のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ】
(二社) 高山市文化協会 事務局 三四一六五五〇
(一社) 高山市文化協会加盟団体

文化協会後援 催事のお知らせ
【公益社】日本吟道学院 暁友会 飛驒本部 独吟発表会
◇日時 八月三十一日(日) 午前九時より
◇場所 文化会館三階講堂
◇入場無料

文化協会 加盟団体紹介 「歌人クラブ・高山」

代表 上牧右田子

当会は、歴史ある「飛驒短歌」の解散後、都竹豊治、桜井幸子・今寺修三の各氏が中心となり、旧会員とともに発足しました。自然の営みの中、日々の暮らしでの喜びや悲しみなど、心動かされたことを言葉として残す、自己表現の方法として短歌を勉強しています。

月一回(第三土曜の十時～十二時) 作歌修練のための歌会を開催しており、その作品は、隔月に高山市民時報に掲載していただき、毎年、高山文化フォーラムでも発表しています。また年に一度、岐阜県歌人クラブより講師を招き、飛驒地区の他会と合同歌会を開催しています。会員はみな気さくな方ばかりで、初心者の方も率直に自分なりの意見を述べるなど、楽しい勉強会となっています。歌を詠むという事は難しい事ではありません。ゆとりある日々を送る為に、短歌に興味をお持ちの方は、是非ご参加ください。会員一同お待ちしております。



「風目(目)」

毎年八月になると、吉田満著の「戦艦大和ノ最期」を読むことにしている。戦記文学の最高傑作と言う人もいる。単なる戦記ではなく、死を前にした青年達の本音の激論の部分に、何回読んででも惹き付けられる。戦艦対航空機の優劣はハッキリしていて、明らかに敗けて沈むと分かっているのに「特攻」という「余りにも稚拙な作戦」命令に「少佐以上を銃殺」「万里の長城、ピラミッド、大和、世界の三大馬鹿」などの暴言、狼藉。

その鉄拳制裁まで入ったの激論部分の最後に、白淵警大尉は言う。「進歩の無い者は決して勝たない。負けて目覚めることが最上の道だ。…」

(中略)

それ以外にどうして日本が救われるか。今目覚めずしていつ救われるか。俺たちはその先導になるのだ。日本の新生にさきがけて散る。まさに本望じゃないか」と。

そして静かに桜の花の中を出撃していく。日本はその後、本当に目覚めたのだろうか。本当に進歩したのだろうか。(ガンモン毛筆)